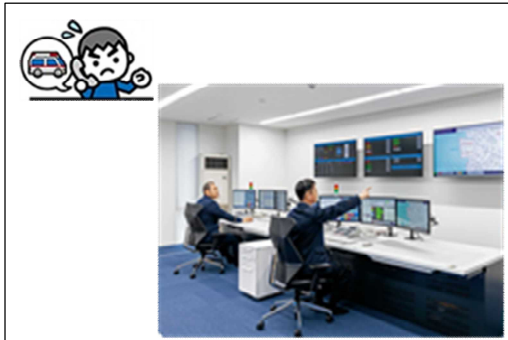


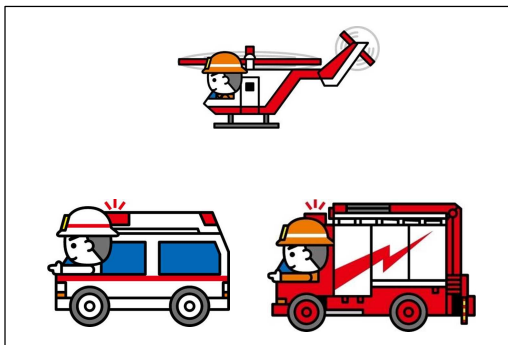
救急搬送 ～119番通報から病院搬送までの流れ～



119番通報すると、江田島市消防本部の通信指令室に繋がります。

受付員が救急車の向かう場所（出動場所）や傷病者の状態などを聞きます。

意識・呼吸がない場合や大量出血している場合は、通報者に救命処置の方法を教え、実施をお願いしています。

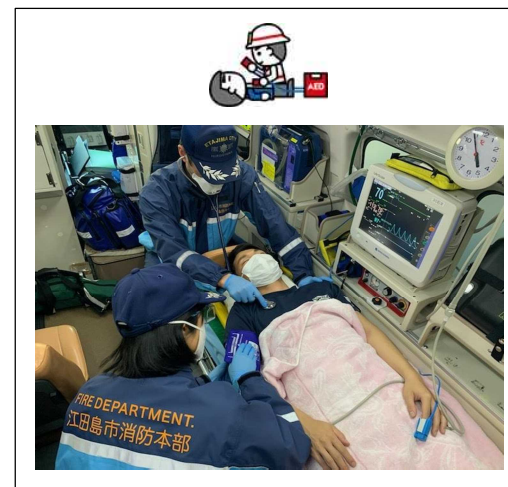


救急車が出動します。

受付員が聴取した情報は、無線により救急隊員に伝達します。

意識がない場合は、消防車が連携して出動します。

重篤な場合は、広島県ドクターヘリの出動を要請します。



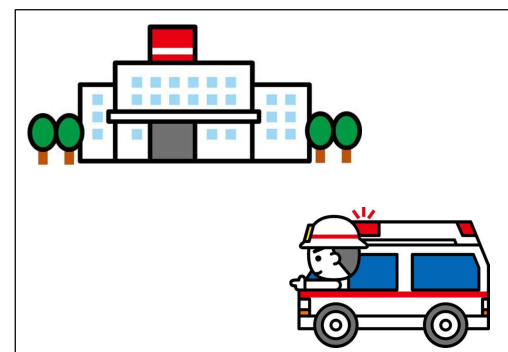
現場に到着した救急隊員は、傷病者の観察、救命処置をしながら、救急車内へ搬送します。

救急車内では、心電図や血圧測定などの観察を行いながら、救命処置を続けます。

観察結果から最寄りの対応できる病院を選定し、電話連絡します。

傷病者の状態（観察結果）から、病院は受け入れを判断します。

搬送する病院が決まるまで、救急車はその場で待機する場合があります。



搬送途中、救急救命士が医師の指示により、気管挿管などの特定医療行為を実施する場合があります。

病院搬送後、医師や看護師に傷病者の情報や状態の引継ぎを行い、次の救急に備えます。要請があれば、市外からでも緊急走行で出動します。